

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 コムシード株式会社 上場取引所 名
コード番号 3739 URL https://www.commseed.net/
代表者 （役職名） 代表取締役社長CEO （氏名） 塚原 謙次
問合せ先責任者 （役職名） 経営戦略室長 （氏名） 池野 勝祥 TEL 03-5289-3111
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,087	△10.6	49	—	58	—	32	—
2025年3月期中間期	1,215	51.2	3	—	△27	—	△228	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 25百万円（－％） 2025年3月期中間期 △221百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	2.41	2.41
2025年3月期中間期	△17.00	—

（注）2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,673	723	42.8
2025年3月期	1,619	693	41.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 716百万円 2025年3月期 679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	00.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	00.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	13.6	150	3.5	130	11.0	100	—	7.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業務予想の記載を省略しております。
詳細は、添付資料P4「1.経営成績等の概況（3）連結業務予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	13,511,416株	2025年3月期	13,481,316株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	148株	2025年3月期	148株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	13,486,431株	2025年3月期中間期	13,461,434株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、ソーシャルゲーム等のモバイルゲームアプリの企画・開発・運営を行う「モバイル事業」及び、NFTやGameFi関連サービスを取り扱う「ブロックチェーン事業」を展開しております。

当中間連結会計期間の業績は、売上高1,087,025千円(前年同期比10.6%減)、営業利益49,254千円(前年同期は3,085千円の営業利益)、経常利益58,719千円(前年同期は27,792千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益32,540千円(前年同期は228,905千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

売上高につきましては、主力であるモバイル事業において、前年同期における有料アプリの大ヒット反動減により前年同期比では減少しているものの、通期の業績計画に対しては順調に推移しております。

利益面につきましては、不採算事業の整理と継続的なコスト削減が奏功し、営業利益は前年同期比で増益となりました。これに伴い、経常利益、及び親会社株主に帰属する中間純利益につきましても、前年同期の損失から黒字転換を達成いたしました。特に親会社株主に帰属する中間純利益に関しては、大幅に改善しております。

セグメント別の経営成績と、展開する事業におけるサービス分野別の主な取り組みは以下のとおりであります。

(モバイル事業)

既存のソーシャルゲーム運営を中心に、有料ゲームアプリ販売や受託開発が好調に推移しました。

- ① ソーシャルゲームについては、新規タイトルであるバーチャルホール「スロパチスピリット」の開発及びリリース準備を進行いたしました。なお、本タイトルは2025年10月1日にリリースしており、足元において極めて好調に推移している旨の速報を公表しております。そのほか、主力サービスのバーチャルホール「グリパチ」においては定期的な新アプリの投入やYouTube生放送と連動したイベントなど、各種施策を継続し、前年水準を維持しつつ推移しております。
- ② 有料ゲームアプリにつきましては、当第1四半期に1タイトルをリリースしたほか、引き続き、第3四半期にリリース予定の新規タイトルの開発が順調に進行いたしました(当第2四半期末時点)。なお、「Lパチスロかぐや様は告らせたい」については、本決算発表日までにリリースを完了しており、第3四半期以降の売上寄与を見込んでおります。当第2四半期においては、新規販売が1タイトルに留まったことに加え、前々期の会計年度末に販売した有料ゲームアプリが想定を超えるヒットとなった反動により、前年同期比では減収となりましたが、通期の販売見込みは当初計画通り進捗しております。
- ③ 受託開発及び運営業務に関しては、ストック型案件、フロー型案件ともに想定通りに推移しております。なお、フロー型案件については引き続き、株式会社アイビープロGRESSで受託開発案件を進行しております。
- ④ ゲーム内広告をはじめとする広告事業については、既存ソーシャルゲーム内の広告と合わせ、無料広告モデルのゲームアプリが好調であり、前年同期を上回って推移しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,084,728千円(前年同期比7.5%減)、セグメント利益は91,172千円(前年同期比35.2%減)となりました。

(ブロックチェーン事業)

ブロックチェーン事業では、前期より不採算プロジェクトの整理及び自社による新規投資の抑制といった構造改革を推進し、外部パートナーとの協業や受託開発等を通じて収益性の改善に注力いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は11,972千円(前年同期比82.8%減)、セグメント損失は41,918千円(前年同期は134,900千円のセグメント損失)となり、大幅に改善いたしました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態の状況

当中間連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は1,673,694千円(前連結会計年度末比54,044千円増)となりました。

流動資産では1,249,323千円(同45,169千円減)となりました。これは主に現金及び預金21,153千円、売掛金24,673千円の減少によるものです。

固定資産では424,370千円(同99,214千円増)となりました。これは主に無形固定資産でソフトウェア仮勘定112,553千円の増加によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は949,720千円(同23,174千円増)となりました。

流動負債では777,913千円(同52,022千円減)となりました。これは主に契約負債97,438千円の減少とその他41,381千円の増加によるものです。

固定負債は171,806千円(同75,196千円増)となりました。これは主に長期借入金69,796千円の増加によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は723,974千円(同30,869千円増)となりました。これは主に利益剰余金32,540千円の増加によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は744,764千円(前連結会計年度末比19,045千円の減少)となりました。

当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は3,579千円(前中間連結会計期間は191,988千円の獲得)となりました。

主な内訳は、税金等調整前中間純利益54,500千円、減価償却費13,821千円、売上債権の減少26,073千円、その他流動資産の減少19,130千円、その他流動負債の増加18,742千円を要因とした資金増加と、仕入債務の減少31,083千円、契約負債の減少97,438千円を要因とした資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は112,354千円(前中間連結会計期間は114,964千円の使用)となりました。

主な内訳は、無形固定資産の取得による支出111,846千円の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は89,028千円(前中間連結会計期間は11,835千円の使用)となりました。

主な内訳は、長期借入による収入100,000千円の資金増加と、長期借入金の返済による支出10,200千円の資金減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。当第2四半期の連結業績は、当初計画通りに推移しており、通期の業績計画達成に向けて非常に順調に進捗しております。

当社グループは、主力事業であるソーシャルゲーム「グリパチ」に加え、ゲームパブリッシング事業や安定的な収益が見込める受託事業を軸に、引き続き強固な収益基盤を維持してまいります。その上で、中長期的な持続的成長の実現に向けた新たなコアタイトルとして、既に順調な滑り出しを見せている「スロパチスピリット」を位置付け、収益源の多様化と次の成長の柱の構築に順調に取り組んでおります。

モバイル事業においては、第3四半期以降にリリースされた有料アプリがリリース当初から好調に推移していることに加え、新たなコアタイトルである「スロパチスピリット」のリリースが完了し本日現在、関連アプリが55万ダウンロードを超えるなど順調に滑り出していることから、既存ソーシャルゲームや受託開発・運営事業を含め堅調に推移すると見込んでおります。なお、本サービスは今後の当社の新たな収益の柱として育成していくべく、計画通り、初期開発コストの減価償却費や広告宣伝費など一定の費用計上を当期に見込んでおります。

一方、ブロックチェーン事業については、不採算事業の整理による事業基盤の再構築及び事業方針の変更を実施した結果、新規投資の抑制及び固定費用の削減が計画通りに進行しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	791,809	770,656
電子記録債権	13,400	12,000
売掛金	297,997	273,324
棚卸資産	12,584	23,498
短期貸付金	100,000	100,000
暗号資産	3,050	398
その他	81,684	75,080
貸倒引当金	△6,033	△5,634
流動資産合計	1,294,493	1,249,323
固定資産		
有形固定資産	4,416	10,197
無形固定資産		
ソフトウェア	22,567	16,674
ソフトウェア仮勘定	130,886	243,440
その他	685	685
無形固定資産合計	154,140	260,800
投資その他の資産		
その他	166,599	153,372
投資その他の資産合計	166,599	153,372
固定資産合計	325,156	424,370
資産合計	1,619,649	1,673,694
負債の部		
流動負債		
買掛金	154,854	130,906
短期借入金	302,550	309,450
1年内返済予定の長期借入金	20,400	40,404
契約負債	187,183	89,745
引当金	2,800	3,880
その他	162,147	203,528
流動負債合計	829,935	777,913
固定負債		
長期借入金	71,100	140,896
役員退職慰労引当金	18,427	18,427
退職給付に係る負債	6,268	6,268
その他	814	6,214
固定負債合計	96,609	171,806
負債合計	926,545	949,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199,639	1,205,451
資本剰余金	630,748	636,560
利益剰余金	△1,170,417	△1,137,877
自己株式	△53	△53
株主資本合計	659,917	704,082
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,174	12,500
その他の包括利益累計額合計	19,174	12,500
新株予約権	14,011	7,391
純資産合計	693,104	723,974
負債純資産合計	1,619,649	1,673,694

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,215,580	1,087,025
売上原価	825,621	713,486
売上総利益	389,959	373,538
販売費及び一般管理費	386,873	324,283
営業利益	3,085	49,254
営業外収益		
受取利息	1,589	1,489
受取賃貸料	3,182	3,162
還付消費税等	—	9,987
その他	1,138	1,214
営業外収益合計	5,909	15,853
営業外費用		
支払利息	7,375	5,585
暗号資産評価損	5,670	475
貸倒引当金繰入額	23,671	—
支払手数料	—	250
雑損失	70	76
営業外費用合計	36,787	6,387
経常利益又は経常損失(△)	△27,792	58,719
特別損失		
減損損失	153,919	1,350
事業整理損	25,604	2,868
特別損失合計	179,524	4,218
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△207,317	54,500
法人税、住民税及び事業税	7,608	18,387
法人税等調整額	13,979	3,572
法人税等合計	21,588	21,960
中間純利益又は中間純損失(△)	△228,905	32,540
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△228,905	32,540

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△228,905	32,540
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,983	△6,674
その他の包括利益合計	6,983	△6,674
中間包括利益	△221,921	25,865
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△221,921	25,865

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△207,317	54,500
減価償却費	40,160	13,821
減損損失	153,919	1,350
事業整理損	25,604	2,868
のれん償却額	2,820	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	—	1,080
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	165	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△949	△399
株式報酬費用	6,582	4,974
受取利息及び受取配当金	△1,589	△1,489
支払利息	7,375	5,585
貸倒引当金繰入額	23,671	—
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	△473	△1,109
売上債権の増減額（△は増加）	77,253	26,073
棚卸資産の増減額（△は増加）	3,441	△10,913
暗号資産の増減額（△は増加）	40,727	2,651
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,468	△31,083
その他の流動資産の増減額（△は増加）	38,662	19,130
前払費用の増減額（△は増加）	14,581	△10,898
長期前払費用の増減額（△は増加）	△42	7,946
未払費用の増減額（△は減少）	△24,349	10,193
契約負債の増減額（△は減少）	△5,405	△97,438
その他の流動負債の増減額（△は減少）	7,562	18,742
その他	—	1,604
小計	199,934	17,190
利息及び配当金の受取額	85	636
利息の支払額	△937	△2,110
事業整理損の支払額	—	△1,224
法人税等の支払額	△7,094	△10,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,988	3,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△568	△508
無形固定資産の取得による支出	△90,724	△111,846
その他	△23,671	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,964	△112,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	29	30
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△11,865	△10,200
リース債務の返済による支出	—	△551
その他	—	△250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,835	89,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△728	700
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	64,459	△19,045
現金及び現金同等物の期首残高	628,111	763,809
現金及び現金同等物の中間期末残高	692,571	744,764

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2024年４月１日 至2024年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル事業	ブロックチェーン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,158,567	57,013	1,215,580	—	1,215,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,602	12,758	26,360	△26,360	—
計	1,172,170	69,771	1,241,941	△26,360	1,215,580
セグメント利益又は損失 (△)	140,800	△134,900	5,900	△2,814	3,085

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△2,814千円は、のれんの償却額△2,820千円とセグメント間取引消去6千円であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ブロックチェーン事業」において減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において153,919千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	モバイル事業	ブロックチェーン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,075,052	11,972	1,087,025	—	1,087,025
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,676	—	9,676	△9,676	—
計	1,084,728	11,972	1,096,701	△9,676	1,087,025
セグメント利益又は損失 (△)	91,172	△41,918	49,254	—	49,254

（注）セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「モバイル事業」において減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において1,350千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間連結会計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,812千円増加し、当中間連結会計期間末において資本金が1,205,451千円、資本剰余金が636,560千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。